

**プロジェクションマッピング作品の世界一が決定！**  
**光の祭典「TOKYO LIGHTS 2023」**  
**世界最大級のプロジェクションマッピング国際大会**  
**「1minute Projection Mapping Competition」授賞式を開催！**  
**グランプリに輝いたのはルーマニアの Vali Chincişan**  
～ 小池都知事より祝辞とプライズプレート授与、11月開催の優勝者エキシビションにも期待～

今年で3回目となる光の祭典「TOKYO LIGHTS 2023(トウキョウ ライツ ニーゼロニーサン)」のメインコンテンツである世界最大級のプロジェクションマッピング国際大会「1minute Projection Mapping Competition」(以下、国際大会)の授賞式を2023年9月10日(日)、明治神宮外苑 聖徳記念絵画館にて開催いたしました。



見事グランプリを獲得したのは、ルーマニアの Vali Chincişan。今年のテーマ「LINK」に対し“Legacy Links”という作品を発表、古代文明が織り成す歴史を、AIを使用したアニメーションで表現し、現在と過去の繋がりを表現し、2023年におけるプロジェクションマッピング作品の世界一に輝きました。

そして、小池百合子東京都知事がグランプリのプレゼンターを務めました。受賞者には、栄冠のプライズプレートが授与され、「TOKYO LIGHTS 2023 Sep. RED」は授賞式終了とともにフィナーレを迎え、大盛況のうちに幕を閉じました。



## ■小池百合子東京都知事 コメント

Vali Chincişan さん、大変おめでとうございます。レベルの高い作品が本当にたくさん集まっていました。ここから世界に羽ばたくクリエイターの方々がたくさんいらっしゃると思います。

今年のテーマがまさに「LINK」、繋がりという言葉でございますけれども、持続可能な未来を実現する、そのために互いが手を携えていくということが、この「LINK」という言葉の中に込められております。どうぞこれからもこの素晴らしい技術とアート、これを皆さんとともに楽しんでいきたいと思っております。おめでとうございます。

## ■「1minute Projection Mapping Competition」大会結果

### <グランプリ(東京都知事賞)>

作品名：Legacy Links

チーム名：Vali Chincişan / (ルーマニア)



作品コンセプト：

この作品は、シュメール、エジプト、ギリシャなどの古代文明の織り成す歴史を鮮やかに描いたビデオマッピング・アニメーションである。そのダイナミックなビジュアルを通して、相互の進化と現代社会への集団的な影響を強調している。アニメーションは過去と現在の架け橋となり、どの文明も孤立して発展したわけではないことを示唆している。むしろ、それぞれが他の文明に貢献し、影響を与えたのだ。『Legacy Links』は、私たちの祖先の協力的な精神を反映し、共通の歴史と相互のつながりを意識しながら、今日のグローバルな課題に取り組むよう呼びかけている。

### <準グランプリ(TOKYO LIGHTS 賞)>

作品名：Touch

チーム名：Elektrick.me/ (ブルガリア)



作品コンセプト：

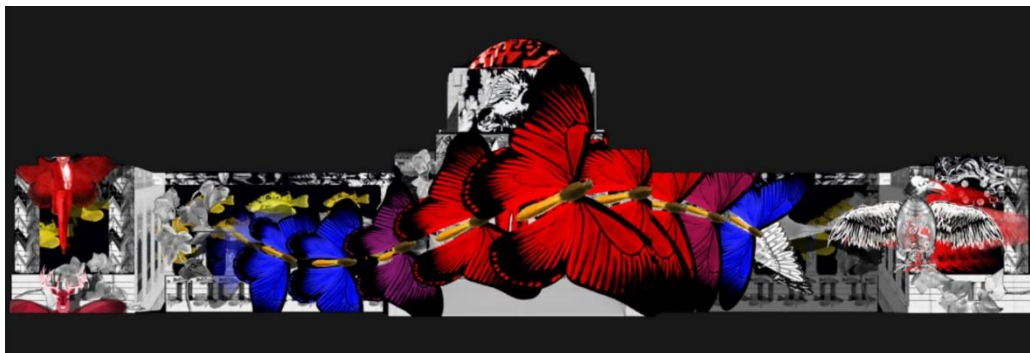
私たちは、今年のテーマ「リンク」を別の方法で解釈した。全員がそれぞれのバリエーションを作り、最後にすべての作品をひとつの壮大なビジュアル・コラージュとしてリンクさせた。こうすることで、創造性は非常に広大で多様であるにもかかわらず、アートや表現を通して私たちを本質的に結びつけていることを表現したかった。私たちの作品はこの考えを具現化したもので、「タッチ」という言葉のあらゆる概念を探求している。単なる物理的な意味とは別に、「タッチ」は創造的な追求においても見られるもので、芸術は心に「タッチ」し、インスピ

レーションや感情、そして深い相互関係をもたらすことができる。

### <審査員特別賞>

作品名：Human

チーム名：Ari Dykier/（ポーランド）



作品コンセプト：

人間の視点は、私たちが知っているすべてである。人間は、自然とテクノロジー、生物学と機械、動物とロボット、過去と未来をつなぐ存在だ。私たちは、いつか生物学的な機械やアンドロイドの形をした魂に直面することになるかもしれない。

### <Tokyo Tokyo 賞>

作品名：Umbra

チーム名：Resorb/（ドイツ）



作品コンセプト：

闇の存在が影から出てきて、世界を闇と混沌に陥れようとする。直感と神秘的な知恵を使い強力な絆を生み出す能力で、闇と闘う少女が登場する物語。あらゆる存在にある光のつながりがひとつになれば、どんな闇をも追い払う力を生み出すことができる。私たちが伝えたいのは、さまざまな解釈ができるシンプルな物語。ひとつは、つながりの大切さ。前向きさと愛で団結すれば、どんなことにも打ち勝つことができる。AI と作曲したサウンドトラックを採用し、私たちはつながりの大切さを人々に思い起こさせたい。

## <オーディエンス賞>

作品名 : A Neon Owl Symphony

チーム名 : Clockwork/ (ポーランド)



作品コンセプト :

時代をシームレスにつなぎ、アンティークな建築物から活気あるネオン市場へと移り変わる。パフォーマンスの目玉は、光り輝くフクロウのチャーミングな家族。彼らのシンクロしたダンスは、可能性、団結、知恵を表現している。この作品は歴史、創造性、テクノロジーを織り交ぜ、3D マッピングの興味深いテイクを提供することを目指している。集合精神を代表するフクロウは、この芸術表現の無限の風景の中で、私たちの謙虚な努力を導いてくれる。

## ■世界最大級のプロジェクションマッピング国際大会「1minute Projection Mapping Competition」



1minute Projection Mapping Competition は、世界中のクリエイターから寄せられるハイレベルで個性豊かな作品を、一度に見ることができる国内で唯一無二のプロジェクションマッピング国際大会です。

今年で 11 回目を迎えた今大会のテーマは「LINK」。今年は過去最多の世界 58 の国と地域から 281 組のエントリーがありました。コンペティションでは最終選考に選ばれたファイナリスト 20 作品を重要文化財の聖徳記念絵画館をスクリーンに投影しました。世界各国から集ったハイレベルな作品が上映されると、来場されたお客様より大きな拍手があがりました。

## ■光の祭典エリア



【IMMERSIVE GATE】



【LINK TOWER】



【IMMERSIVE WALL】

明治神宮外苑 総合球技場軟式球場では、光のアートや音楽を融合させた「光の祭典」も開催されました。ここでは非日常感のある光の世界を旅する様に、先進的なエンターテインメントが配置され、エリア全体で多種多様な体験が提供されました。「光の振付師」として国際的イベントの開会式に LED 演出を手掛けた MPLUSPLUS の藤本実氏や、THINK AND SENSE の松山周平氏、他に dod、PRISM らトップクリエイターたちが力を合わせ、光の祭典を創り上げました。会場を大胆に活用したイマーシブ空間のアートやリアルパフォーマンスを組み合わせた没入型のエンターテインメント空間のほか、フードやドリンクも楽しめる飲食スペースも登場しました。

## ■TOKYO LIGHTS とは

2021 年より始まった『TOKYO LIGHTS』は、東京の新しい風物詩として未来へのメッセージを発信する光のイベントです。TOKYO LIGHTS の『LIGHTS』には、未来の可能性を示す「ビジョン」、表現技術を示す「先進性」、これからの担う「人材」、それらを育み集まる「コミュニティ」など様々な意味が込められています。こうした「光」を集め、その化学反応によって輝く希望のメッセージを東京から世界へ届けていきます。

公式サイト：TOKYO LIGHTS 2023 公式 HP <https://tokyolights.jp>

## <構成団体 / 関連サイト、SNS>

主催：TOKYO LIGHTS 2023 実行委員会

共催：東京都

後援：新宿区

企画協力：一般財団法人プロジェクションマッピング協会

制作／運営：株式会社博報堂プロダクツ

公式サイト：<https://tokyolights.jp>

SNS：X（旧 Twitter）／Instagram／Facebook／YouTube (<https://tokyolights.jp/link/>)

公式ハッシュタグ：#tokyolights #1minutePM #tokyolights2023

## <イベント内容 チケットに関するお問い合わせ>

TOKYO LIGHTS 2023 事務局 TEL：03-3585-1022